

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



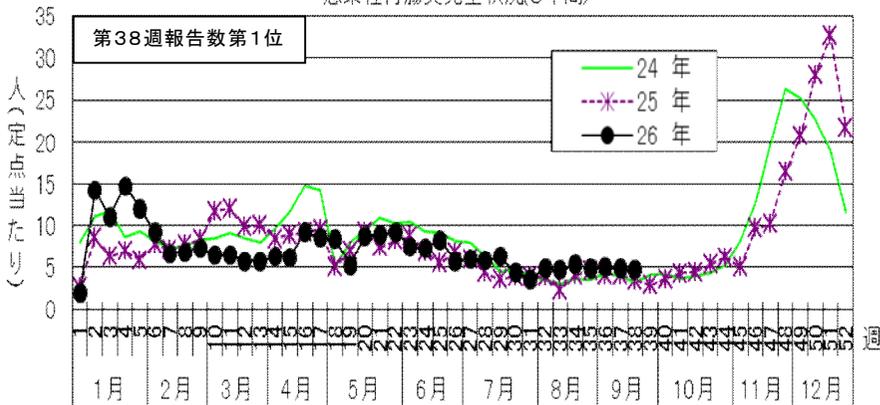
KAWASAKI CITY



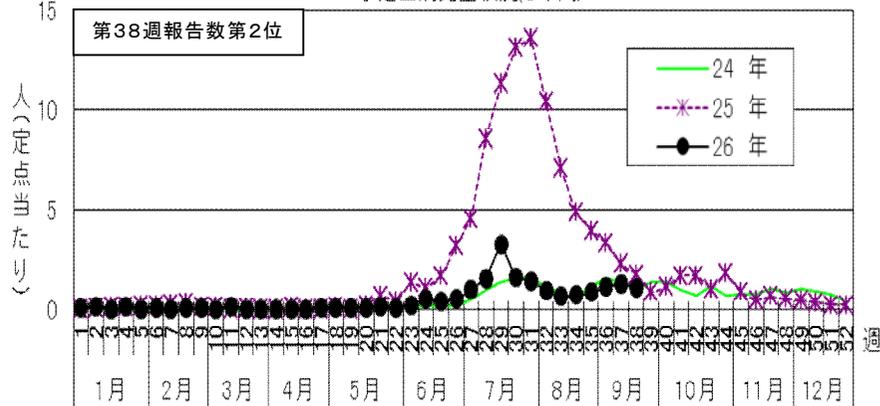
平成26年9月15日（月）～平成26年9月21日（日）〔平成26年第38週〕の感染症発生状況

第38週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)手足口病 3)水痘・ヘルパンギーナでした。
 感染性胃腸炎は定点当たり4.70人と前週（4.82）から患者報告数はほぼ横ばいでしたが、例年より高いレベルで推移しています。
 手足口病は定点当たり1.09人と前週（1.30）から患者報告数はほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。
 水痘は定点当たり0.88人と前週（0.58）から患者報告数は増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 ヘルパンギーナは定点当たり0.88人と前週（1.73）から患者報告数は減少し、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



手足口病発生状況(3年間)



長引く咳は「結核」かもしれません！

平成26年9月24日から9月30日までは「結核予防週間」です。結核は、国内で年間2万人以上が新たに発病している感染症です。この結核予防週間を契機に、結核に関する正しい知識を深め、感染予防及びまん延防止に努めましょう。

こんなときは医療機関へ！！

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。次のような症状が続く場合には、結核を疑って早めに医療機関を受診してください。

- ①咳が続く（2週間以上）
- ②痰（たん）が出る
- ③身体がだるい
- ④微熱が続いている

結核は、早期発見・早期治療が重要です。

平成25年 川崎市結核罹患率(人口10万対)



市内では、特に川崎区において結核罹患率が高く、市全体でも全国平均より高い状況です。